

吉本新喜劇が彦根にやってくる！



ギャグと笑いの吉本新喜劇が6月、彦根にやってくる。

彦根や湖東地方の特色や芸能をストーリーに盛り込み、地域住民も参加するオリジナル公演だ。笑いを通じて活力ある地域創造をはかる市民グループの招致活動が実を結んだ。

ゆるキャラ “いしだみつにゃん” も出演。さらに彦根を代表するゆるキャラ “ひこにゃん” の出演も計画している。

彦根市や湖東の市民団体の有志約50人でつくる「吉本新喜劇実行委員会」（夏川亨介会長）の主催。今年創業100周年の吉本興業が全国に事業展開する戦略を知り、いち早く手を挙げた。これまで自治体や企業の招致はあったが、市民グループは初めて。吉本新戦略の第1号公演となる。

出演は、内場勝則座長以下、チャーリー浜、若井みどり、Mr. オクレ、山田花子ら。愛荘町出身の漫才コンビ「ダイアン」も登場する。オーディション（5月中旬予定）で選んだ地域住民も参加する。現地取材を済ませた新喜劇のライターが現在、江州音頭などを盛り込んだ地域性豊かなシナリオを制作中という。

公演は6月18日、彦根市野瀬町のひこね市文化プラザ・グランドホール。

午後2時、6時の2回公演で、前売りS席3500円（当日4千円）、A席3千円（同3500円）。

※asahi.com マイタウン滋賀 2011年4月16日掲載記事より

<http://mytown.asahi.com/areanews/shiga/OSK201104150053.html>

4月14日（木）大阪市内にて会見を行った。

花子は「ひこにゃんの中に入りたいです」とボケたが、彦根市のゆるキャラ “ひこにゃん” が出演できるかは今後の交渉次第。

花子のボケを受けて内場（吉本新喜劇座長）は「彦根の名物や特産品もストーリーに入れていければと思います」とアピール。また、「ゆるキャラ同士で漫才をやってもらおうかな」と構想を練っていた。

チケット売り上げの一部は義援金として東日本大震災の被災地に送られる。



写真左＝山田花子（左前）・内場勝則（右前）
田中賀鶴代（アリアエンタープライズ代表）（左後）・
いしだみつにゃん（中央後）・夏川亨介（吉本新喜劇
実行委員会会長）（右後）